

「鎌ヶ谷市環境美化対策推進協議会」令和5年度第4回会議 会議録

1 開催日時

令和6年1月18日（木） 午後2時15分～午後3時00分

2 会場

鎌ヶ谷市役所 本庁舎 6階 第2委員会室

3 出席者

(1) 環境美化対策推進協議会会議委員 8名

高野武会長、小島正實副会長、太田尻工副会長、岡野恵子委員、  
岡崎康子委員、上野磯次郎委員、今村喜和子委員、飯野正昭委員

(2) 事務局 4名

中川クリーン推進課長、神道係長、佐々木係長、前田主任主事

4 傍聴者

なし

5 会議

会議に先立ち、名簿登載順にて、岡野恵子委員、岡崎康子委員を会議録署名人に選出した。

(1) 議題

①令和5年度「ごみの散乱のない快適なまちづくり推進団体等表彰について」  
(事務局が資料を基に説明)

会 長：この団体は、鎌ヶ谷大仏駅付近で花の植え替え等を行っていて、  
綺麗にしている。何か質問等はあるか。

副会長：平成26年度に表彰辞退歴があるが今回は問題ないのか。

事務局：窓口にて活動状況報告書を提出頂いた際に、表彰に関して決定した場合は、あらためて連絡することを案内している。

会 長：ほかにご意見等がなければ、原案のとおりということによろしいか。

委 員：異議なし。

②「鎌ヶ谷市ごみの散乱のない快適なまちづくりに関する条例」における推進  
地区等の啓発について

(事務局が資料を基に説明)

会 長：何か質問等はあるか。  
委 員：路上喫煙禁止の推進地区はどのように周知しているのか。  
事務局：広報かまがやにおいて、推進地区エリアを掲載すること、及び  
現地には、立て看板2枚、路面シート等を設置し周知を行って  
いる。  
会 長：ほかにご意見等がなければ、原案のとおりということによろし  
いか。  
委 員：異議なし。

## (2) 報告

### ①令和5年度「リサイクルフェア」の実施結果について

(事務局が資料を基に説明)

会 長：何かご意見等はあるか。  
副会長：広報かまがやに忘れ物の傘を市へ約700本寄贈したとの記事  
が掲載されていたが、リサイクルフェアで使用しているものな  
のか。  
事務局：広報かまがやの掲載内容は、北総鉄道より寄贈されたものであ  
り、鎌傘という市の事業において使用されている。  
会 長：リサイクル傘の受け取りの流れはどのようになっているのか。  
事務局：協議会を主体として、毎月市職員が新京成鉄道へ傘を受け取り  
に訪問している。  
会 長：リサイクル傘の販売は、整理券方式で行うことで、混乱は無か  
ったが、後半は売り場が閑散としていた。  
整理券で販売時間が決まっているため、遅い時間になると購入  
に来ない人が増えて、販売用の傘が余ってしまう。  
その一方で、後から来場した整理券を持っていない人は購入で  
きないため、より良い販売方法は考えられないか。  
事務局：当初は整理券も無く、早い者勝ちで取り合いになる状況の中で  
販売を行っていた。  
その後、列を作って並んで頂き、時間制限を設けて販売する方  
法に変更した。  
そして、コロナ禍になったこともあり、並んで頂くのではなく  
整理券方式を導入したという経緯がある。  
また、整理券の枚数を増やすことや販売の準備時間を短くする  
こと等で調整してきた結果として、現行の販売方法がある。  
今回の開催を踏まえて、委員の方にも改善点や意見等を頂き、  
より良い方法を作り上げていきたい。

(3) その他

①令和6年度「ごみゼロ運動」における回収専用袋について

(事務局が資料を基に説明)

会 長：ごみゼロ運動の際に使用するものなのか。

事務局：毎年協議会の予算でごみゼロ運動用の袋として、約10万円を支出しているところであるが、バイオマス製の袋を無償提供できないかという提案があった。現状のごみ袋は、プラスチック製であるが、バイオマス素材の場合は、温室効果ガスの削減に繋がることや経費節減の効果もある。

委 員：予算を10万円使うとごみ袋はどれほど購入できるのか。

事務局：約1万枚を購入することができる。

副会長：ごみ袋のサイズはどれほどなのか。

事務局：従来のごみ袋と同等の大きさになると聞いている。

委 員：ごみ袋を無償で提供してもらえるのか。

事務局：市の方では、一切費用負担は生じない。

副会長：良い話ではあるが、持続性はあるのか。

事務局：事業者としては、取組を拡大していきたいと考えているとのこと。

次回のごみゼロ運動から袋を導入したいので、準備を進めさせて頂きたい。

会 長：ごみゼロ運動の際は、早めにごみ袋を配布してほしい。

事務局：早めに配布できるよう準備をしていきたい。

そのほか特に質疑等なく閉会

会議録署名人の署名

以上、会議の経過を記載し、相違ないことを証するために次に署名する。

令和6年1月31日

氏名 岡崎 康子

氏名 岡野 恵子